

ハンノウコート 光触媒性能試験

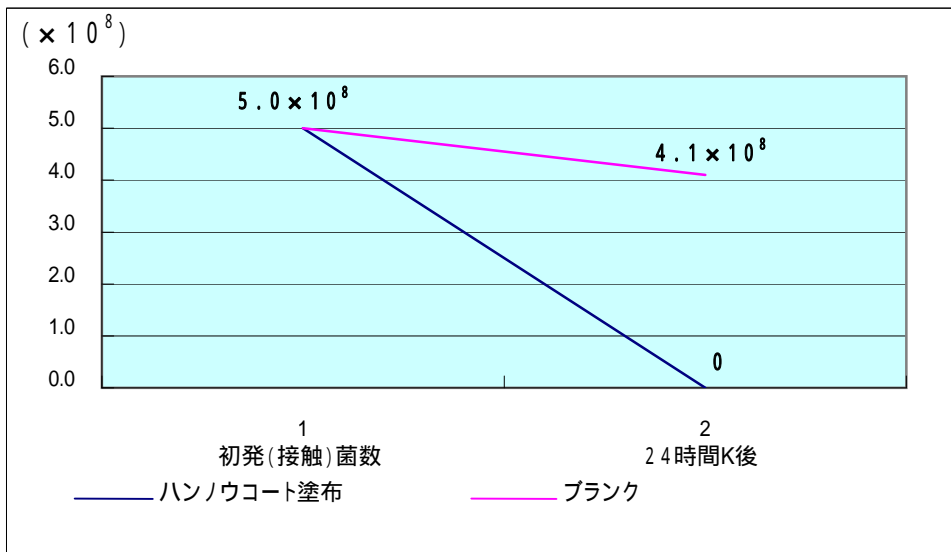
大阪府立産業技術総合研究所 検査結果(証明済)

試験項目 微生物接触培養試験・資料調製(黄色ぶどう球菌)

試験法 抗菌加工製品ー抗菌性試験方法・抗菌効果JIS Z2801:2000に準じ Staphylococcus aureus ATCC6538P(黄色ぶどう球菌)を前培養、1/500 ニュートリエントブロスにて分散希釈し試験菌液を調製した。この試験菌液 0.4mlを直径90mmの滅菌PSシャーレ中の50mm角検体に滴下、40mm ストマッカーフィルムを密着させてふたをかぶせ、ステンレステーに置き、ポリ塩化ビニリデン製ラップフィルムで全体を覆った。そして10Wブラックライトを照射しながら、25℃で24時間経過後、菌液窃取培養面にSDDL9.6 mlを滴下・洗い出しを行い、内1mlを採取、10倍希釈系列を作成し、生菌数を標準寒天混釈法にて測定した。

試験結果:生菌数(検出限界値10cfu)

初発(接触)菌数		24時間後
ハンノウコート塗布	5.0×10^8 cfu	0 cfu(検出せず)
ブランク	5.0×10^8 cfu	4.1×10^8 cfu



ハンノウコート 光触媒性能試験

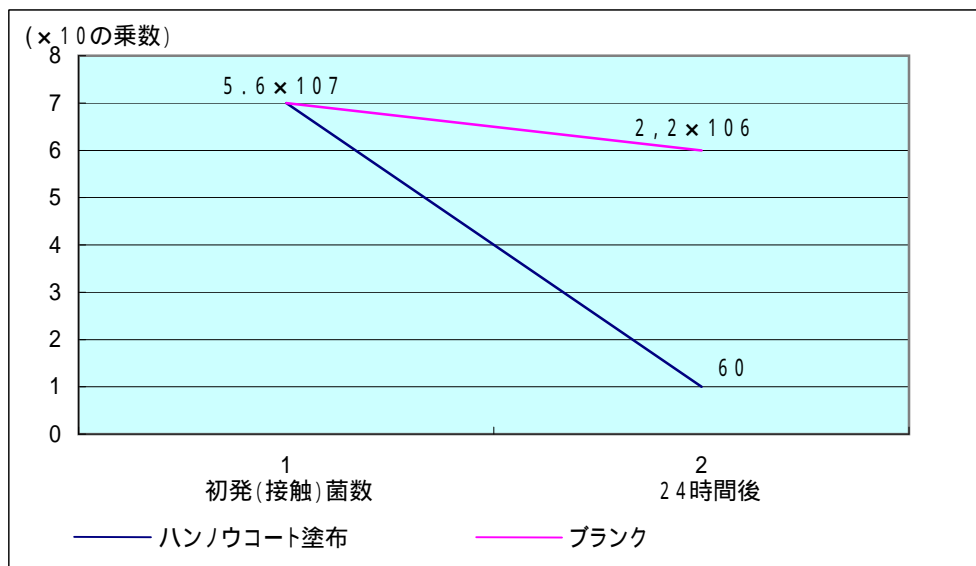
大阪府立産業技術総合研究所 検査結果(証明済)

試験項目 微生物接触培養試験・資料調製(大腸菌)

試験法 抗菌加工製品ー抗菌性試験方法・抗菌効果JIS Z2801:2000に準じ Escherichia coli IFO3972(大腸菌)を前培養、1/500ニュートリエントブロスにて分散希釈し試験菌液を調製した。この試験菌液0.4mlを直径90mmの滅菌PSシャーレ中の50mm角検体に滴下、40mmスタマッカーフィルムを密着させてふたをかぶせ、ステンレストレーに置き、ポリ塩化ビニリデン製ラップフィルムで全体を覆った。そして10Wブラックライトを照射しながら、25℃で24時間経過後、菌液窃取培養面にSDDL P9.6mlを滴下・洗い出しを行い、内1mlを採取、10倍希釈系列を作成し、生菌数を標準寒天混釈法にて測定した。

試験結果:生菌数(検出限界値10cfu)

	初発(接触)菌数	24時間後
ハンノウコート塗布	5.6×10^7 cfu	60 cfu
ブランク	5.6×10^7 cfu	2.2×10^6 cfu



ハンノウコート 光触媒性能試験

大阪府立産業技術総合研究所 検査結果(証明済)

試験項目 微生物接触培養試験・資料調製(カンジタ菌)

試験法 抗菌加工製品－抗菌性試験方法・抗菌効果JIS Z2801:2000に準じCandida albicans IFO1594(カンジタ菌)を前培養、1/500ニュートリエントプロスにて分散希釈し試験菌液を調製した。この試験菌液0.4mlを直径90mmの滅菌PSシャーレ中の50mm角検体に滴下、40mmストマッカーフィルムを密着させてふたをかぶせ、ステンレステーに置き、ポリ塩化ビニリデン製ラップフィルムで全体を覆った。そして10Wブラックライトを照射しながら、25℃で24時間経過後、菌液採取培養面にSDDL9.6mlを滴下・洗い出しを行い、内1mlを採取、10倍希釈系列を作成し、生菌数を標準寒天混釈法にて測定した。

試験結果:生菌数(検出限界値10cfu)

	初発(接触)菌数	24時間後
ハンノウコート塗布	1.7×10^7 cfu	40 cfu
ブランク	1.7×10^7 cfu	7.7×10^6 cfu

